

研究テーマ

「相手を意識して聞く力を高める指導の工夫」
一正しく聞く必然性のある場面を
取り入れた単元づくりを通して一

1

本実践に関連する児童の実態

対象児童 小学校第3学年

- 強み
 - ・人と関わることを好む
 - ・一方的ではあるが、話をするのが好き
 - ・興味のあること（食べることなど）には、主体的に取り組む
- 課題
 - ・相手の話を聞こうとする意識が低い
 - ・話の内容を正しく理解することが苦手
 - ・ワーキングメモリが低い
 - ・「聞く」学習に苦手意識を持っている

2

指導目標・指導仮説

生活単元学習 「おきやくさんがよるこぶおみせやさん」

目標（本実践終了時の期待する子供の姿）
・聞いた内容を正しく理解し、答えることができる。

指導仮説

・児童が興味を持つ学習活動を設定し、聞くトレーニングを通して聞く態度（相手を見る、復唱する）を定着させることで、話の内容を正しく理解することができるであろう。

児童生徒の実態

3

指導・評価の計画

◆表1 指導・評価の計画

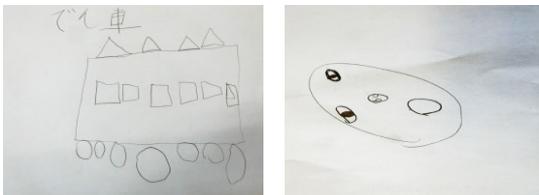
	主な学習活動	目標	評価方法
1次 (毎日)	相手の顔を見て話を聞く・復唱する練習	相手を見て話を聞く、復唱することができる。	見取り
2次	栄養教諭と一緒にスイートポテトづくり	場所や環境を変えても相手の話を復唱しながら正しく聞くことができる。	見取り
3次	スイートポテト屋さんの宣伝	相手の質問を正しく聞くことができる。	見取り
4次	店員さんになり注文を聞いて、商品を渡す	注文を復唱しながら正しく聞き、注文通りに商品を渡すことができる。	見取り アンケート

◆表2 実践前後の変容の評価

評価内容	評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く態度（相手を見る、復唱する） ・話の内容を正しく理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の見取り ・他の教諭による見取り ・「聞き取り」テスト

4

指導の実際① 「聞くトレ」



指導者の指示を反復しながら確認し、絵を完成させる。

教師：「大きな丸を描きます」
児童：「大きな丸を描きます。」⇒ 描く
教師：「丸の真ん中に小さな丸を描きます」
児童：「丸の真ん中に小さな丸を描きます。」⇒ 描く

5

指導の実際②

「栄養教諭と一緒にスイートポテトづくり」



アドバイスを聞きながら調理をさせる。

6

指導の実際③

「スイートポテト屋さんの宣伝」

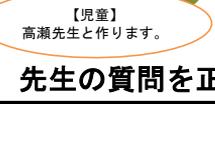
【教師】
誰と一緒に作りますか。



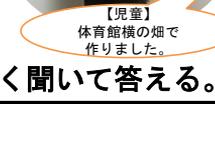
【教師】
サツマイモはどこで作りましたか。



【児童】
高瀬先生と作ります。



【児童】
体育館横の畑で作りました。



先生の質問を正しく聞いて答える。 7

指導の実際④

「店員さんになり注文を聞いて商品を渡す」



「一人2つまで買えます。
大盛り 中盛り 小盛りがあります。
どれにしますか？」

○注文を復唱し、注文通りに商品を渡す。
○動画を振り返り、できたことや改善点に気づく。 8

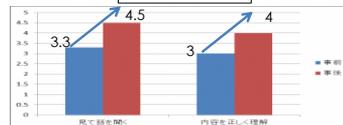
学習過程の評価

次	学習活動	児童生徒の状況	達成状況
1	相手の顔を見て話を聞く・復唱する練習	(相手を見る) ○音や外の様子によって他に注意が向くことが少なくなった。 (復唱) ○徐々に、復唱できる言葉の長さが長くなってきている。	○
2	栄養教諭と一緒にスイートポテトづくり	○相手を見る、復唱をすることができた。 △作業に夢中になりそうな場面もあった。	△
3	スイートポテト屋さんの宣伝	○相手を見て聞く姿勢は見られた。 △情報を伝えることが主となり、復唱をすることができなかった。	△
4	スイートポテト屋さん開店	○たくさんのお客さんと関わりながら、「相手を見て聞く」「聞く時は聞く」の経験を積み重ねることができた。注文内容を復唱し、正しく商品を渡すことができた。	○

実践前後での児童の変容

実践前	実践後
<ul style="list-style-type: none"> ●話を聞く際、相手に視線が定まらない。 ●復唱する態度は身につけていない。 ●一問一答の問いは答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○視線が相手に向く時間が長くなった。 ○指示がなくても「復唱する」場面が見られるようになった。 ○質問内容を2つにしても答えられる場面が増えた。

教職員による評価



10

指導仮説の検証

- 児童生徒は目標を達成したか。
 - ・ほぼ達成できた。
- 判断の理由・根拠
 - ・担任以外の教職員からの評価「話の内容を理解している」の項目が1ポイント向上した。
 - ・日常生活でも聞く態度ができていく場面が増えた。
- 指導の工夫は有効であったか
 - ・「興味のある課題設定」「聞くトレーニング」は有効であった。
- 判断の理由・根拠
 - ・聞いた情報を絵にすることで、興味・関心をもって取り組むことができた。
 - ・視線や体を動かさずに聞く場面が増えた。
 - ・聞き取りテストの結果が向上した。(2つ同時に質問されても答えられた。)

指導の改善案

成果 (よかった点)	課題 (改善が必要な点)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもつ単元設定 ・「聞くトレーニング」による態度の指導 ・教職員の協力による多様な場面設定 ・動画による振り返り活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力指導 ・聞いて復唱する必然性がある場面設定 ・「作業」「書く」などの時間と分けて、指示・説明をする



成果・課題を踏まえた改善案

- ・語彙マップの作製による語彙力の向上
- ・聞く必然性のある課題や場面の設定
- ・動画撮影等による達成感をもたせる振り返り活動の充実
- ・指示・説明の復唱や、「聞く」時は「聞く」だけの活動とするなど、丁寧な実態把握に基づく「聞く」指導の充実

12